

西郷村の人口及世帯数
(43.1.1現在)

世帯数	2,187
人口	10,778
男	5,320
女	5,458



発行日 昭和43年1月25日

発行所
西郷村役場
電話(磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
企画課長 坂井周平
印刷所
ワタベ印刷所

今こそ晴れて成人の日を



激動する社会情勢の中

村長 新年の所信表明

昭和四十三年の新春を迎え、東北自動車道の建設、工場の進出、観光施設の開発、農業構造の改変等に対処しいよいよ複雑多岐にわたる村政を目前にひかえ、村長から年頭の挨拶として所信の表明がありましたので、ここに一月号の巻頭に掲げさせて頂き、今年の村政展望の資にいたしたいと存じます。

西郷村長

佐藤 帰一

皆さん明けましておめでとうございます。
この輝かしき年頭にあたり、この紙面をとおして、皆様に御挨拶を申し上げます。光栄を得ましたことを、ここに改めて厚く御礼申し上げます。責任の重且つ大なることを更に深く自覚し、村政に一層の精進を致すこととお誓い申し上げます。

さて今年には激動する社会情勢の中で、村政もますます複雑繁忙を極めてまいるものと予想されます。

東北自動車道

まず、かねて私共の関心

写真は西一中体育館の

成人式の情景

事でありました東北自動車道も発表されました。いよいよ本格的な対策にとりかかる事となりました。家、宅地、農地、山林等を道路建設のために提供される皆様に、御迷惑を最少限度に留めるよう、その対策と補償に万全を期する覚悟であります。そしてこの機会に、これの対策として実施される環境の整備は、皆様の御協力を得て、できるだけ完全なものにしたいと存じます。

文化施設

有線放送電話の建設も国の補助が決まり、三月末までには、放送と電話の事業が開始の運びとなりますので、何かと便利になる事と思います。大字羽太、柏野長坂、米、熊倉、鶴生方部の水道工事も、県と具体的交渉に入っておりますし、報徳地区、芝原一の又方部の水道工事も今年実施される事となりました。米から鶴生に通ずる村道の整備舗装も、国、県で建設費の八十七%を負担する、農業用揮発油税の財源身替農道、いわゆる農免道路として開発すべく交渉を進めております。路幅が相当広くなりかつ屈曲をなおさなければなりませんので、沿道の皆様に特に御協力御支援を賜りますようお願い申し上げます。

畜産振興

畜産振興は、我が国農業の前途に重要な意義を持つておりますが、本村にとつても将来の重要な課題であります。那須山麓の国有地解放による大規模牧野は、いよいよ発足とまじりませんが、一方では里山の開発による小型牧野の利用による畜産の推進を考えております。

観光開発

甲子の観光開発については、関係各位の御努力により逐次整備されつつありますが特に冬期における施設が不十分でありますので、今年には赤面山のスキート場開設を強力に推進致します。又最近甲子の開発にともない、原中一の又一四ツ門の村道が特に重要度を増して参りましたので、これの早期整備を計画致したいと考えます。

工場誘致

長坂、柏野、羽太地内に誘致を計画致しております。昭和化成品株式会社は、県の企画開発部のあつせんによるもので、公害並びに安全性については、県の公害規正の元締のあつせんでありますので、信頼してよろしいかと考えます。北部の開発には将来とも重大なる
(次頁につづく)

(一頁よりつづく)
 価値を持つものでありますので、関係皆様の深い御理解をいただきたいと考えます。

農業対策

次に農業問題であります。わが国の農業が国際的な視野の中で論ぜられるようになってから久しいわけですが、その優劣が価格の面において特に問題となつて参りました。農作物の価格はわれわれの生活を支える重大な要素でありますから、深い関心を持ちコストの引き下げと品質の向上には一層の努力を払わねばならない訳であります。更に国際的な経済競争の場を考えたとき、真剣にこれの施策に取り組まねばならぬと考えます。これが為には土地基盤整備をはじめとする合理化対策が絶対必要であります。ところが耕地整

理も機械の経済的な活用も皆が協力しなければできない現状にあります。これは、皆様充分御承知のところであり、なかなかこの壁を破れません。しかしこの困難を乗り越えてこそ、新しい農業が生れ、未来の希望が持たれるものであると信じます。今年は一ツ真剣に話し合つて行きたいと思ひます。

教育

教育をどう充実するかは村民各層からいろいろと御意見を承つております。義務教育がどのように行なわれているか、それが村民の期待にかなつていのかどうか。設備は整備されているか、運営は適切であるかなどを広く研めて行きたいと思つております。

社会福祉

国の高度成長経済は、各層にひずみを作りました。特に時勢に乘れない人々の為には、社会福祉の施策を強く推し進めなければならぬと思ひます。そして、老人と子供をいたわり育てる暖かい配慮のないところにうろたわしい社会はできないので、関係の皆様とともに努力したいと考えます。

環境整備

本村も都市近郊の要因がいよいよ濃厚となつてまいります。したがつて生産手段の合理化のためにきめの細かい行政を押し進めるとともに、既設工場の便益を含めて、生活環境の整備をいそがねばなりません。これらのことが生活文化の向上に連なり正常な消費をうながして商家の方々の為にも益する所となることと存じます。

軽自動車税

軽自動車税とは、原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車又は二輪の小型自動車の所有者に対して課せられるものを持つています。これらのものを持つている人は、毎年村に対して軽自動車税を納めなければなりません。軽自動車等は、これを利用すれば、必ず多少なりと

道路を損耗するわけですから、その所有者からは道路損傷に対する負担金を徴収することが妥当であると見、啓発し、理解を深め進んで時代の進運に乗るた

昭和三十二年四月一日現在の課税しるの西郷村の軽自動車税の課税台数は次の通りです

村税解説シリーズ (5)

昭和四十一年度の西郷村の収納した軽自動車税は、一、九五〇、〇三三円でし

各課紹介



その三

今月は厚生課をご紹介します。厚生課は、住民の日常生活上の福利に関することを受け持つ課で、その範囲はかなり広いものになっています。したがつて、役場の中でもかなりの大世帯の課員で構成されております。現在、厚生課は五つの係に分れていて、国保係、年金係、社会福祉係、保健衛生係、水道係となつています。以下各係について説明しましょう。

● 社年金に關すること。● 児童扶養手当に關すること。以上を受け持つています。● 社会福祉係 これは社会福祉全般に關することを受け持つていますが、主として次のようなことと存じます。

- 生活保護に關すること。
- 児童、老人、身体障害者母子及び精神薄弱者福祉に關すること。
- 罹災者救助に關すること。
- 行路病人死亡人及び捨子に關すること。
- 職業のあつせん、補導及び労働に關すること。
- 世帯更生資金に關すること。
- 日赤共同募金に關すること。

- 保健衛生係 ● 伝染病予防に關すること。
- 成人病予防に關すること。
- 火葬場及び墓地に關すること。
- 環境衛生に關すること。
- 母子保健に關すること。

- 水道係 これは村の簡易水道の管理を受け持つていますが、その内容は主として簡易水道の管理補修に關すること。
- 水道料金に關すること。
- 水道の經理に關すること。となつています。

- 国保係 これは、● 国民健康保険に關すること。
- 国民健康保険直営診療所に關すること。
- 保健施設(保健婦)に關すること。
- 以上の仕事を受け持つております。

- 年金係 これは、● 国民年金に關すること。

△
▽

補正予算等議決

第三回定例会開かる

昭和四十二年村議会第三回定例会は、十二月二十二日午前十時から、西郷村議場が開かれました。

提出議案は、西郷村有線放送電話施設工事分担金徴収条例の制定と、西郷村一般会計外三つの特別会計の補正予算で計五件ありましたが、いずれも原案どおり可決いたしました。そのあと協議会が持たれて、村営の宅地造成の件、工場誘致の件、大規模草地造成の件、各種陳情書の取り扱いの件等種々協議されましたが以下その概要をお知らせいたします。

先づ有放の分担金徴収条例ですが、これは、一世帯当り二万円、一事業所当り四万円と決定しました。二万円の中、農協組合員は各農協から一万円の補助が出ることになりました。

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ一三、二二二万円が追加され二二二、九〇一千万の予算規模となりました。うち、主なものは有放特別会計への繰出し四、四九〇千円、宅地予定

地買収費四、七四四千円、山村振興事業補助金一、八九八千円でその他各款項における当初予算の調整などについております。

特別会計の方は、国民健康保険で一、〇二九千円を追加し、八、五一八千円に簡易水道で一六二千円を追加し、四、五八六千円となりました。いずれも当初予算の調整的な性格の補正です。

又有線放送施設事業では当初四十二、四十三両年度に分けて予算をとつていましたが、国庫補助金が全額四十二年度に交付決定となりましたので、今回、建設のための全額を予算計上、四〇、二三六千円を追加総額で八二、二三三千万となりました。

協議会では、村営の宅地造成の件がありますが、これは現在交渉中で、次号あたりでくわしく御知らせできると思います。次は工場誘致の件ですが、これは長坂、柏野地内の大信寄りの山林約百八十町歩、大信分八十町歩と合せて二百六十

町歩の地域に、昭和化成品株式会社という、千人雇用の火薬薬品製造工場を誘致しようというもので、議会も賛成の意を表しました。

次に、大規模草地造成事業ですがこれは西郷ダム西方、由井ヶ原部落の東北部の国有林四四〇ヘクタールを借りて、白河市、西白河郡各町村が主体となつて、西白河酪農協に経営を委託して、共同利用模範牧場を建設しようというもので、議会の賛同を得ました。いづれも事業進行とともにくわしくお知らせできると思

います。

以上第三回定例会の概要をお知らせしました。

昭和43年第一回村議会臨時会開かる

議会議事開かる

昭和四十三年の第一回の村議会臨時会は、一月二十四日に開かれました。

提出議案は七件で、その中四件は、人事院勧告にもとづく職員の給与改定に関するもの、二件が村議会議員その他村の非常勤の職員に公務災害補償に関するもの、あと一件は有線放送電話建設工事の第二回請負契約の議決についてでした。村の一般職の職員は、昨

年八月十五日の人事院勧告

による国家公務員のベースアップに準じて、今回条例が改正され、八月に遡及して給料表が改定、暫定手当の支給、三月支給勤勉手当の〇・一月分増額、宿日直手当の四百二十円から五百

十円への引き上げ等が決定したわけですが、又それにもなつて、一般会計特別会計の人件費の補正予算が議決されました。一般会計は

地方交付税、県の徴税委託金の増額、予備費の使用によつて人件費の増額をまかない、合計で一、六七三万円を増額して、予算総額二二四、五七四千円となりました。

公務災害補償については昨年の地方公務員災害補償法の制定により、非常勤の職員で、法律によつて公務上の災害に対する補償制度が定められていないものについては、村の条例によつて補償制度を定めなければならなくなつたので、ここにその条例を制定いたしました。これによつて、議員、各種委員会の委員、嘱託、その他非常勤の職員が公務上災害を受けたときは補償されることとなつた

わけです。

又、有線放送電話建設工事は先に建柱、本部庁舎の建設及び交換器が契約されておりましたが、今回架線

電話器、宅内工事の契約がなされて、あとは調整を残すのみとなり三月末日までに完成の見とおしとなつたわけですが。

以上第一回臨時会の報告をいたしました。

4・6米つくりの推進講演会開催される

催される

去る一月二十三日午後一時から、西郷村公民館で、県農業試験場種芸部の増戸先生を講師にお招きして、福島県の4・6米つくり(四割増収、六割省力)運動

をいたしました。

山県氏の遺志

社会福祉に遺族の寄付

原中の山県義一氏はかねて病氣療養中でしたが、遂に一月二十三日おしまれつ

つなくなりました。

山県氏は白河農学校を卒業後、農業に従事され、一時は西郷村役場書記、食糧調整委員などをつとめられ温厚篤実な人柄は皆から信頼されておりました。

第三年度の推進をはかるため講演会を開催いたしました。受講者は約五十名で、若い人の参加が少なかつたことはやや残念でしたか、いづれも熱心に聴講し、有意義な講演でした。

内容は「健康な土を作るために」客土、深耕、腐植の富化、無機成分の富化を「丈夫な稲を作るために」優良品種の選定、健苗の育成、栽植密度の適正、耕深の適正、施肥の適正、合理的な水管理を、各項目毎にくわしく説明されました。

これからも、いろ／＼な角度からの4・6米つくりに対する講演会を計画しておりますので、是非多数の方々の参加を希望いたします。

今般御遺志によつて御遺族から、本村の社会福祉事業のためにと金一封が寄せられました。ここに謹んで感謝申し上げます。ここに謹んで感謝申し上げます。ここに謹んで感謝申し上げます。

村ではこの寄付金を恵まれない人々のための貸付金の原資に充当して生かすよう計画しておりますことを御報告いたします。

